

富士市立高等学校 学校運営協議会		第14回	会議要旨 (平成29年度)
開催日 平成29年10月30日 月曜日 開会 13時30分 閉会 15時45分	会議場 富士市立高等学校 2階 PIRルーム		
出席委員 【委員】 工藤千麻琴 塩田 真吾 鈴木 愛美 土屋 悦美 畑 隆 畑 裕美 村田 猛 矢崎 進 山田 雅彦 岩田 享 味岡 俊雄 石村 俊樹 【オブザーバー】 安倍 徹 沼里 智彦			
開会			
授業参観			
<p>○会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士市立高等学校の取組は、全国的にも注目を集めていることについて、前回の学校運営協議会でも紹介された。全国から参観者が来校し、授業を聞いたり、先生の話をついたりしているという。 ・富士市立高等学校学校運営協議会では、探究学習をはじめとする教育について様々な議論をしてきているが、その教育が全国的に見て貴重な取り組みとなっているということで、全国の学校の高い評価を受けている所以ではないかと思う。 ・この学校運営協議会も、高校での教育・取組をサポートする場として非常に重要だと思う。 <p>○副会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校は、富士市の理解もあり、施設環境に恵まれている。教室もプロジェクター、パワーポイントが使えるようになっており、素晴らしい授業が行われているというのを強く感じている ・富士市立高校になってからの最初の卒業生が現在大学4年生となっている。本校の卒業生は、探究学習、特にグループワーク、ペアワークでの本校での経験を活かし、ゼミナールなどでのグループ活動において中心となってファシリテーターなどの役目を積極的に引き受け、会議をリードしてくれているということで、大学の先生方からは、富士市立の生徒は集団での活動が大変上手であると、評価を受けている。 ・探究学習は極めて効果があり、社会人になってその経験が生きてくるので、卒業後も探究学習での経験が活用してもらえればと考えている。 			

・富士・富士宮地区の中学の卒業生今後毎年約100人程度減少していく見込であり、中学生が減っていく中で、どのようにして募集定員を確保していくかということが、本校だけでなく近隣のすべて高等学校の課題となっている。

議事の概要

授業に関する質疑応答

(質問・意見等)

・探究の担当した先生は、授業でもう少し生徒が深い視線で考えてほしいと思っていたようであるが、授業については、生徒が意見を出しやすいよう工夫をしていた。

(質問・意見等)

・自分も在学しているときにはディベートをやったことがある。最初はディベートと言われても難しすぎて何をやればいいのかわからなかったが、今日の授業では、論点を細かく区切っていく方が生徒の集中力もメリハリがつけられるのではないかと思った。

(質問・意見等)

・一番驚いたのは、1年生も2年生も学びから外れている子が誰もいなかったことである。

(質問・意見等)

・先生が授業の前に入念に準備をしていて、またICTなどの機器を効果的に活用していた。

(質問・意見等)

・市立高校では、主体的、対話的で深い学びという構成については、いい方向に進んでいると感じた。

(質問・意見等)

・探究学習の授業では、一部の生徒だけの作業ということではなくて、そのグループのメンバーのみんなが、全員でかかわっていくという、そういう場面を全体的に見ることができたので、いい感じで授業ができていますと感じた。

(質問・意見等)

・授業では、1グループ4人で、違った色の付箋を使い分けており、個人差はあったが、遠くから見ても、生徒全員が授業に参加していることが感じられ、よかったなと思った。

(質問・意見等)

・自分たちの時代の先生との距離感と違って、非常に先生と生徒がいい距離感を保っているのかなと感じた。

(質問・意見等)

・グループワークをする場合にグループの4人の組み分けはどのように行われているのか？

(回答1)

・この男子生徒は男子1人になってもうまくやっていけそうだとか、女子生徒の中に入っても1人でやっていけるなというような生徒をピックアップして、その男子生徒は男子1人のグループに入れていく。このことは、生徒本人には伝えていないで、ランダムに選んだ、ということにしている。男子生徒が2人になるグループの場合は、この生徒とこの生徒は同じグループにいた方が力を発揮できるのかなというようなことを判断して、男子生徒が2人となるグループを作っていく。引っ込み思案の男子生徒に対しては積極的な女子生徒を付けるような

<p>(回答2)</p> <p>(質問・意見等)</p>	<p>極的な女子生徒を付けるような形で配置をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のクラスは、もう2年生ということもあり、概ねクラスの中の雰囲気という中では、誰とでも会話できるような状態になっている。全体として前の方に詰めて座ってもらうということはお願いしているが、生徒自身が自分にあつた席に座ってもらっている。 ・ICTを上手に活用していて、細かな気配りと準備がよくされているなという印象を受けた。これからの学習指導要領の主体的な学びと対話的な学びというのが非常によくできているなという印象である。深い学びをいかに展開していくかということが今後の課題ではないかと思う。 ・先生は、生徒たちが伸びると信じて授業をしていることが伝わってきた。生徒たちも、きっと自分たちは期待されている、力をつけることができると感じているから、あのようにな動的に、主体的に頑張れていると思う。
<p>○学校からの報告</p> <p>◇探究だより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度探究だよりについて学校運営協議会での議論の中で御意見をいただき、富士市立高校でしかないというフレーズを入れた方がいいのではないかと、ということで、今回でトピック1の最初のところに「富士市立高校にしかない授業」という言葉を入れた。 ・写真を大きく入れてみたらどうかという御意見をいただいたので、少し写真を大きく掲載した。 ・探究だよりは、富士市内の中学校3年生全員に配布している。 <p>◇夏季集中研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では、学力の3要素のうちの思考力、判断力、表現力、そのほか今言われている主体性、多様性、協働性に着目して体験型の研修を行っている。 ・日ごろ探究活動、校内で身につけている探究学習の力を、大学生であったり、大人の方と一緒に試すということを行っていて、生徒からも、(集中研修に)行った後、意見を聞くと、とても刺激的だったという感想を聞いている。 ・総合探究科1年生は、2泊3日で関東圏で宿泊を伴った研修を行った。1日目は、昨年同様大使館を訪問した。2日目は産業能率大学自由が丘校でフィールドワークを行い、その日の午後は大学で大学生と一緒にグループワークを行った。最終日は、マイナビの本社を訪問し、社会に必要な力について学んだ。 ・総合探究科2年生は、イギリス、オーストラリア、インドから講師が来て各グループに入って活動を行った。 ・総合探究科3年生は、マイクロバス6台で120人が関東圏に行き、まず社会問題に関する現場を見て、その後大学生と一緒に解決案を模索し、打ち出していく 	

というワークを御殿場市「時の栖」で行った。

- ・ビジネス探究科1年生は、2泊3日で日本のグローバルな企業を見学した。今年は、新たに築地市場でのフィールドワークを入れて活動した。
- ・ビジネス探究科2年生は、校内で海外探究研修の語学研修を中心に行った。
- ・ビジネス探究科3年生は、富士商工会議所青年部の方の協力を得て、4人ずつ20数社の企業を訪問し、高校生の視点から、その企業がどのように映っているか、高校生なりの改善点というものを考え、議論し、発表した。生徒たちは自分自身が訪問した企業について自分ごととして考えることができたと思う。
- ・スポーツ探究科は、少し時期がずれたが、1年生はカーリング演習、2年生は2泊3日の山中湖でのキャンプ、3年生は富士山登頂を行った。

◇部活動の大会結果について

- ・本校は運動部が15、文化部が17それと生徒会が1ということで、全部で33の部活動があり、そのうち陸上部、柔道部、陸上部（スポーツ探究科3年生の眞澤君（ハードル）、朝日さん（800m）ほか）、チアリーダー部、報道部が今年度全国大会に進出した。
- ・全国大会というわけではないが、吹奏楽部は、東海吹奏楽コンクールに出場した。
- ・東海大会では、東海高等学校新人陸上競技選手権大会で男子400メートル走で宮川君が8位、男子110メートルハードル走の山崎君が準優勝、男子400メートル走は山崎君が優勝、女子100メートル走の小針さんが準優勝、女子200メートル走は同じく小針さんが4位、女子800メートル走で岩山さんが7位ということで、全員入賞という好成績を収めた。
- ・サッカー部は、全国高校サッカー選手権大会静岡県大会は、11月3日からの決勝トーナメントに進出している。1回戦は、11月3日草薙陸上競技場で、清水桜が丘高校と対戦する。（結果0対2で敗退）

◇中学校1日体験入学について

- ・これまで授業中心に1日体験入学を行ってきたが、今年度は卒業生に市立高校に来てもらい、より生徒や保護者が聞きたいのではないかとされる事項に力点を置いてリニューアルを図った。
- ・当日アンケートを実施したところ、卒業生による実際の富士市立高校での高校生活の状況、進路の決定方法等について関心が高かった。
- ・本校に期待していることという質問に対しては、3学科とも楽しい高校生活というのが最も多かったが、同程度で「授業」に期待しているという結果があった。また、海外探究研修にも強い関心があった。

◇広報活動について

- ・8月から10月までにかけて3学科長（総合、ビジネス、スポーツ）による中学校訪問を行った。
- ・「富士市立高校だより」を発行し、市内の中学生3年生の生徒全員に配布した。

- ・ラジオFで年間24回「ICHIKO-WAVE」として放送している。朝午前7時24分からの2分間の放送という短い時間ではあるが、生徒自ら本校の魅力について語っていく形になっている。放送内容は、ホームページに掲載し、いつでも聞けるようにしている。
- ・本年5月1日からホームページをリニューアルし、写真を多数掲載して、見やすいレイアウトに変更した。
- ・市内の中学校との連携をより深めるため、吉原東中学校1年生の数学の指導ボランティアということで、1月につき2回ぐらい本校の生徒10人程度が吉原東中学校を訪問して学習指導を行うこととなった。
- ・その他コミュニティスクールということで、部活動を含め地域のイベント等に参加している。

学校からの報告について意見交換

(質問・意見等)

・中学生1日体験入学について、卒業生が今回から参加したということで、毎年やっているものというのは、どうしても前年に引き続いてということになってしまいがちだが、内容を改善しているのがよい。

(質問・意見等)

・中学生にとって富士市立高校がどういう存在なのか、ということについては是非ヒアリングをしてほしい。入学する前に子どもたちがどういう認識をしているのかということについてアンケートをとってほしい。どういう印象を擁いたか、どういうイメージを持っているか、ということを経験入学の時に子どもに聞いてみるとよい。多分これから高校選びも100人減少ということで、かなり厳しくなってくると思うが、こういった体験入学をする前に、どういう印象を抱いていたのかということを知っておくと、その後の改善に繋がれると思う。

(質問・意見等)

・体験入学の中で、中学生が授業を評価するという意見があるのは興味深い話で、大変意義があると感じた。

(質問・意見等)

・広報活動プラス広聴活動というか、学校から外へのベクトルの発信はかなり工夫していて、いろいろなメディアを使ってやっていると思うが、高校3年間を振り返ってみて、こんなことをしてもらったらよかったとか、3年間こういうことをもっと教えてもらえば、又は学ぶ機会があれば、もっと今の生活が力強くなったのかなかと、どちらかというところよかった部分以外の要望みたいなものを卒業生から聞くことによって、それを学校運営に活かしていくという方法もあると思う。

(質問・意見等)

・市立高校だよりというのは、まちづくりセンターにも配付されているのか？

(回答)

・配付されていない。

(質問・意見等)

・町内会長は、富士市立高校についてあまりよく知らない。市立高校だよりをまちづくりセンターに、(まちづくりセンターの設置数は、)

	<p>市全体でも26か所なので、(各センター1枚ずつ)26枚送付すればいいだけで、せめて吉永まちづくりセンターには、1部ぐらい送付してほしい。</p>
<p>◇探究的な学習の取組について</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在4期生まで卒業生が出でいて、ここ2年卒業生に本校の感想を書いでもらっている。「日常生活や学習事項についてもよく考えながら取り組むことで、とても充実した日々を送ることができました。これは、「究タイム」という授業から探究する力を学んだからだと思います。」、「また、大学入試でのレポート作成や集団討論を通して、この学校で身につけた課題解決能力、コミュニケーション能力は、社会に出てからも必要とされる力なのだと改めて感じました。」、「富士市立高校では、他の高校ではできない経験をすることができます。「究タイム」という授業では、様々な事柄を追求するだけではなく、自分自身についても考えることができます。これは、とても大切なことです。自分自身を知ることによって、新たな挑戦をしようと思えますし、進路についても明確に見えてきます。また、「海外探究研修」では、自分の価値観がひっくり返るような体験をすることができるでしょう。」などの卒業生の感想がある。 ・各学科の魅力ということで、各中学校に資料配付している。 ・本校の関係するイベント等について、多数新聞に掲載されている。 	
<p>探究的な学習の取組について意見交換</p>	
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒へのアンケートの取り方だが、まず1年生の時にアンケートを取って、3年生になって同じアンケートを取って、それを比較し、どのくらい伸びたかということ进行分析するようにした方がよいのではないか。そうすれば、富士市立高校で勉強すれば、この点をここまで伸ばしてくれるということが明確になるので、去年の3年生と今年の3年生と比較するよりは、高校1年生から3年生までの間でどのくらい、知識、技術といった能力を獲得できたかということについてのアンケートを取り、その成長の伸び具合を公表すべきと考える。
<p>次回日程について</p>	
<p>閉会</p>	